



放 射 能 に 負 け な い 、 地 域 の 元 気 づ く り に チ ャ レ ン ジ !

代表理事 高 野 金 助

昨年度は、東日本大震災から私達の心が立ち上るには、何をするべきなことを模索し実践した1年でした。

日本たばこ産業のNPO助成事業の支援を頂き、絆フェスティバル「ふるさと靈山ここに生きる」公演を実現しました。地域に住む私たち自身が1歩踏み出して行動しないと私たちの復興再生もあり得ないと位置付けました。

伝承の文化や創作の歌、踊りの表現を地域の有志の皆さんと何ヶ月も練習を重ねてまいりました。東京荒馬座(脚本演出)と苦労を共にしながら、駆け抜けた1年でもありました。

日本たばこ産業のNPO助成事業の支援を頂き、絆フェスティバル「ふるさと靈山ここに生きる」公演を実現しました。地域に住む私たち自身が1歩踏み出して行動しないと私たちの復興再生もあり得ないと位置付けました。

今、里山がっこうの体験教室も震災後から2年9ヶ月がたち、保育園や幼稚園の体験教室の予約申し込みも増えてきました。木造校舎には、賑やかな子ども達の声が響いています。

今年もようしくお願いいたします。世代を越えた皆さまに、「希望」を届ける事業を、皆さんと共にやっていきたいと思います。

おかげさまで11月17日公演に500人の集客を達成しました。出演者と場を支える裏方さん120人達で公演が終了してからの打上げ会場は、大盛況でした。「ふるさとを蘇らせる、希望のステージ公演」を成し遂げたという熱気と感動をみんなで味わうことができました。

今、里山がっこうの体験教室も震災後から2年9ヶ月がたち、保育園や幼稚園の体験教室の予約申し込みも増えてきました。木造校舎には、賑やかな子ども達の声が響いています。

社会教育パワーアップネットワーク(代表佐藤典子)は、ふるさとの再発見グループです。県内に会員を有し、「ふるさと里山ここにいきる」ステージ公演を見るために、「ほっこり里」に宿泊予約をされました。翌朝の交流会は、ステージ公演を観て、興奮冷めやらぬのおひとりおひとりの感想でした。共にふるさとを思う、さわやかな風にあふれた場となりました。





佐渡キャンプ報告 「今年もやります！海、山、泥んこツアー」

7月22日から8月24日まで佐渡保養センター「へつついの家」で、放射能から身を守るために保養キャンプをやりました。8日間に分かれて4回、約70名の親子が福島ではできにくくなつた海、山、川の外遊びを思いっきり楽しんできました。

保養に大切なことは、①線量の低いところでできるだけ長く滞在する、②なるべく放射能の無い食品や水を取る、③排泄力や免疫力を高める手当て法を行なうなどが欠かせないと考えています。キャンプでは自然医学（快医学）の方々に手当法を教えてもらいました。

ケアをやっていただきました。
キャンプは「助け合って生きる」を中心とした共同生活体験でした。手伝いや掃除もやり、また「エネルギーを自給する」を目的に、マキでご飯を炊いたりお風呂を沸かしたりエネルギーを自給する体験も行い好評でした。こういった体験が「原発のいらない社会づくり」につながるを考えます。冬と春休みも「へつついの家」で保養キャンプを開催します。

(関 久雄)



加茂湖でボート体験

「福島のいま」を見にきませんか ～あぶくまスタディツアー～

原発事故以来、「福島のあるがまま」を他県の人見に見てもらう旅、それが「あぶくまスタディー」です。今年は5月から9回、開催し、全ツアーワーです。国から70名の参加がありました。

一泊二日のコースは福島市内と伊達市、飯館村の除染の現場を見て回り、地元の人と交流するとの内容です。放射能被害で苦しんでいる福島の実態を見ていただき、大変、好評でした。今後も紹介します。

「下小国に住むHさんは古民家を再生してここで茶屋をやりたいと話していました。除染して下水が汚染されていないことで決意されたようです。外から見て、福島に住むことを簡単にいい、悪いで片付けられない事情があることがわかりました。茶屋ができたらまた、訪問したいです。」



オープン間近の茶屋の前で

大人気の「青梅の杜保養」、2014年もお楽しみに！

(宗)真如苑の提供の「青梅の杜保養プログラム」は5月から10月まで6回、約120名の参加で行われ大好評でした。3日間の内、2日はフリーで1日は青梅の山の中の体験フィールド「ベルデ」で木工、炭焼き、自然観察、トレッキング等を楽しむという企画です。お昼には大きなピザ窯での「ピザ焼き」もあって、美味しい楽しい体験をさせていただきました。2014年は親子でキャンプ等の企画も生まれそうです。ご期待ください。





●たきびでマシュマロ焼き体験

12月15日、大雪が最高の日になりました。福島と伊達市内の子ども達20人マイクロバスで登校。朝早くから、雪はきをしてのお迎えです。なんと! こどもたちは雪だるまや、かまくらを作つて大はしゃぎ。かまくで炊いたおにぎりと「トン汁」で舌鼓を打ちました。体験の米粉パンが焼けるまでのベンチタイムは2階大広間で、紙飛行機大会で盛り上がりました。3歳の児から、幼稚園小学生までの参加でした。「渡辺裕之さん(NPO会員)主催「里山がっこう丸ごと体験を実施」大成功!

「キッズワーン」 雪の野外体験

昼食メニューは
「おもちセツト」



ふれあいサロン
11月定例会フルート
「なつかしの音楽会」



中央公民館で開催されました。司会は、NPO理事の羽田さん。乾杯の音頭でスタート。胴上げでは荒馬座の宮河さん、実行委員長の靖子さん、合唱団の香先生を北組太鼓保存会の青年達が粋な計らいをしてくれ、場を湧かせました。次々と繰り広げられる各団体の出し物は歓喜に包まれました。フィナーレはスクランムを組んでひとつ輪になり、「風に願いを」大合唱と、最後に仕掛け人NPO高野代表の「1本締め」で終了しました。



代表の千本松四郎さんは、保原町在住です。パークゴルフや染色、アコーディオン演奏など、多趣味で、人を喜ばせるのが、大好きです。健康マージャン教室を他の地域にも普及されました。「飲まない。賭けない。吸わない」の3原則で、実施しています。頭と、手指を使うボケ防止健康教室は、毎回12人~16人の参加者で賑わっています。

8年継続の秘訣は「健康マージャンと仲間と会うのがなにより楽しい」ことです。

昼食は、里山がっこうレストランの手づくりメニューです。パン工房の米粉ピザセットやうどんセット中華どんぶりなどランチタイムも楽しみの一つとなっています。

会員募集中!

- ◆ 每月 第1第3の金曜日
- ◆ 10時~15時
- ◆ 参加費 1100円(昼食代含む)
- ◆ 景品あり

健康マージャン教室紹介



おもうつき

11月23日里山がっこうの校庭で「お餅付き会」が行なわれました。

保原町宮城育成会の親子と、宮城レディースかいの皆さん60人の参加者で賑いました。晴れた空の下、校庭は、親子の、お餅付き会で賑いました。餅丸め体験では、おばあちゃん達が大活躍をして、子ども達と親睦を深めました。おいしいあんこもひと、きなこもち、御雑煮に舌鼓を打ちました。



ふくしまフェア!

12月23日、東京国際フォーラムで開催されました。県内から、多数出展して、「ふくしま」を体感できる楽しいイベント盛りだくさんです。

「福が満開 福のしま」里山がっこうでは今年も米粉パンや梅干ジャムの販売、竹クラフトの体験コーナーそして、2地域相談コーナーで出展しました。



常磐井守泰先生 (工学博士) 放射能測定に協力!

先生は原発事故後、福島に100回を超えるほど足を運んでいます。真如苑様からの土壤測定器を活用し研究をすすめています。農業者のお役にたちたいと願い、柿や、椎茸の生産者との出会いを重ねています。

12月、里山がっこうの空間線量を測定してもらいました。

教室0・850・2

気候条件により、変動あり。



伊達市 年末年始放送!

ケーブルテレビ 年末年始放送!

春から、密着取材を果たし、ついに3時間番組を作りました。

伊達市の再生を願うふるさと靈山ここに生きる高野すみ子が、ケーブルテレビに女子アナウンサー3人に囲まれてピーアール出演しました。

DVD予約承ります。

里山がっこうまで。

行事予定表	
1月	
4日（土）	●らさんた宿泊研修 パン体験
5日（日）	●冬の佐渡キャンプ最終日
11日（土）	●里山合唱団
16日（木）	●ふれあいサロン
17日（金）	●健康マージャン
19日（日）	●大田元気なかあちゃんの会 絆フェスティバル反省会 ●歌声カフェ ●ババママサロン
23日（木）	

連絡先 〒960-0804 福島県伊達市靈山町大石細倉17 NPO法人りょうぜん里山がっこう
E-mail info@date-satoyama.com http://www.date-satoyama.com/

お問合せ TEL 024-587-1032